



初代 中田 篤郎
医学博士
昭和24年5月31日～
昭和27年10月20日



第2代 児玉 桂三
医学博士
昭和28年4月1日～
昭和40年3月31日



第3代 長谷川 万吉
理学博士
昭和40年6月1日～
昭和44年9月25日



第4代 北村 義男
医学博士
昭和45年1月10日～
昭和51年1月9日



第5代 山田 憲吾
医学博士
昭和51年1月10日～
昭和54年1月9日



第6代 岡 芳包
医学博士
昭和54年1月10日～
昭和57年1月9日



第7代 添田 喬
工学博士
昭和57年1月10日～
昭和63年1月9日



第8代 久保田 晴寿
薬学博士
昭和63年1月10日～
平成3年1月9日



第9代 武田 克之
医学博士
平成3年1月10日～
平成9年1月9日



第10代 齋藤 史郎
医学博士
平成9年1月10日～
平成15年1月9日



第11代 青野 敏博
医学博士
平成15年1月10日～
平成22年3月31日



第12代 香川 征
医学博士
平成22年4月1日～

第1部

前史・創立から
国立大学法人化まで

1874 (明治4) 年～2003 (平成15) 年

1.1

前史

1874(明治7)年～
1948(昭和23)年



徳島師範学校		
1874(明治7)年	5月 1日	・徳島市旧城跡西の丸(長久館)に「徳島師範期成学校」が設けられた。これが本校の創始である。
1875(明治8)年	11月	・名東県師範学校と改称された。
	12月 2日	・附属幼年学校が設けられ、上級生には実地教授の練習をなさしめる附属変則中学校が置かれた。これが本県中学教育の端緒である。
1876(明治9)年	12月	・高知県師範学校徳島支校と改称された。
1877(明治10)年	1月29日	・高知県徳島師範学校と改称された。
1878(明治11)年	12月	・高知県徳島師範学校から独立して徳島女子師範学校が設置された。(明治13年6月廃止)
1880(明治13)年	4月16日	・徳島師範学校と改称された。
1887(明治20)年	1月 7日	・徳島尋常師範学校と改称された。
1890(明治23)年	7月	・女子部が設置された。
1898(明治31)年	3月19日	・徳島県師範学校と改称された。
1908(明治41)年	4月 1日	・女子部が独立して徳島県女子師範学校が設置された。
1943(昭和18)年	4月 1日	・官制改正により、徳島県師範学校及び徳島県女子師範学校は、発展的解消し、官立の徳島師範学校が設置された。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島大学が設置され、同大学に包括された。

徳島青年師範学校		
1922(大正11)年	3月 1日	・徳島県立実業補習学校教員養成所として徳島農学校に併設された。
1935(昭和10)年	4月	・徳島県立青年学校教員養成所と改称された。
1940(昭和15)年	5月24日	・臨時養成科が設置された。
1942(昭和17)年	3月31日	・徳島県立青年学校の所在地(徳島市二軒屋町西開)に移転、同校と併設された。
1944(昭和19)年	4月 1日	・徳島県立青年学校教員養成所を母体として官立の徳島青年師範学校が設置され、初代校長に山口県立青年学校教員養成所長古川清人が任命された。
	8月	・鳴門市撫養町の旧撫養商業学校跡地に移転した。
1946(昭和21)年	4月	・水産科が設置された。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島大学が設置され、同大学に包括され、徳島大学鳴門分教場と改称された。
1950(昭和25)年	12月31日	・鳴門市所在の校舎を鳴門市に譲渡し、徳島市南常三島町1丁目の学芸学部新校舎に移転した。

徳島医科大学		
1948(昭和23)年	2月10日	・徳島医科大学が設置され、徳島医学専門学校及び徳島高等学校を包括して発足した。
	11月11日	・初代学長に徳島医学専門学校長中田篤郎が任命された。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島市新蔵町2丁目に分院を設けた。
1954(昭和29)年	9月10日	・徳島大学が設置され、同大学に徳島医学専門学校及び徳島高等学校とともに包括された。
		・医学博士の学位審査権が認可された。

徳島医学専門学校		
1943(昭和18)年	2月26日	・徳島県立徳島医学専門学校の設置が認可された。

	4月	・徳島市民病院が徳島県に移管され、徳島県立徳島医学専門学校附属医院と改称された。
	4月21日	・初代校長に大阪帝国大学教授中田篤郎が任命された。
1944(昭和19)年	7月	・基礎学校舎(徳島市昭和町)が完工し、移転した。
1945(昭和20)年	4月 1日	・官立に移管され、徳島医学専門学校と改称された。
1947(昭和22)年	3月27日	・医学専門学校特別措置法により、上級学生はB級校に準ぜられ、他のA級医学専門学校、高等学校又は大学予科に転学した。
	10月22日	・徳島市蔵本町2丁目(現在の蔵本地区)に校舎及び附属医院を移転した。
1948(昭和23)年	2月10日	・徳島医科大学が設置され、徳島医学専門学校は徳島高等学校とともに包括された。また、附属医院は徳島医科大学附属病院となった。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島大学が設置され、同大学に包括された。

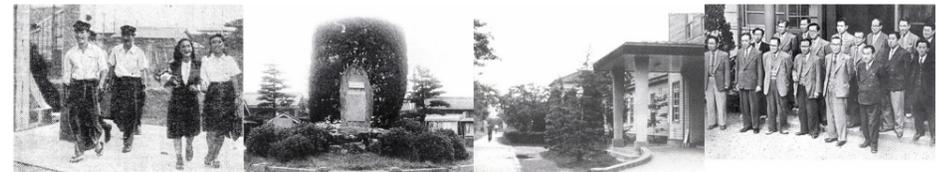
徳島高等学校		
1947(昭和22)年	5月14日	・徳島高等学校が徳島医学専門学校に併設された。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島大学が設置され、同大学に包括された。

徳島工業専門学校		
1922(大正11)年	10月20日	・官立の徳島高等工業学校が設置された。
	12月 4日	・初代校長に熊本高等工業学校教授小溝茂橘が任命された。
1923(大正12)年	8月30日	・徳島市南常三島町2丁目(現在の工学部の位置)に校舎が竣工し、移転した。
1937(昭和12)年	4月 9日	・製菓化学科が設置された。
	8月26日	・工業技術員養成科が設置された。
1939(昭和14)年	4月	・工作機械科が設置された。
		・機械技術員養成科が設置された。
1940(昭和15)年	4月	・電気工学科が設置された。
1943(昭和18)年	4月	・理数科中等教員養成機関として臨時教員養成所が附設された。
1944(昭和19)年	4月1日	・徳島工業専門学校と改称、機械科に第2部夜間部が設置された。
		・造船科が設置された。
1949(昭和24)年	5月31日	・徳島大学が設置され、同大学に包括された。

1.2

創設期

1949(昭和24)年～
1964(昭和39)年



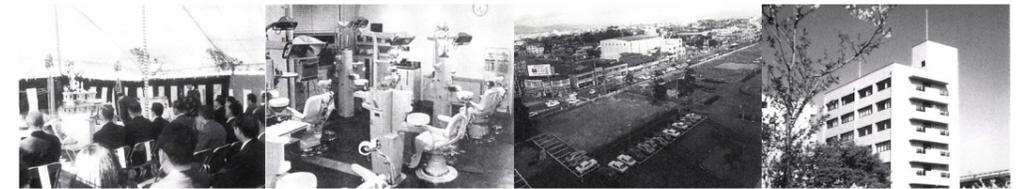
1949(昭和24)年	5月31日	・旧制の徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校および徳島工業専門学校を包括して学芸学部、医学部および工学部の3学部からなる徳島大学が設置された。
		・徳島医科大学長中田篤郎が初代学長に任命された。
		・学芸学部にて二年制および四年制の小学校教員養成課程並びに中学校教員養成課程が、医学部に医学科が、工学部に土木工学科、機械工学科、薬学科、応用化学科および電気工学科が置かれた。
		・徳島医科大学附属病院は、徳島大学医学部附属病院と改称され、10診療科[第一内科、第二内科、精神神経科、小児科、外科、皮膚泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科(院内措置)、産婦人科、中央手術部(院内措置)、中央材料室(院内措置)]で発足した。

		・附属図書館は、学芸学部図書分館、医学部図書分館、工学部図書分館として発足した。
	6月 1日	・徳島大学組織規程が制定された
	7月15日	・事務局を医学部から新蔵町2丁目6番地(医学部附属病院分院内)に移転した。
	11月 2日	・徳島大学開学祝賀式典を工学部講堂において挙行了た。(以後、この日を開学記念日とした。)
1950 (昭和25) 年	1月 1日	・評議会が設置された。
	3月31日	・包括されていた徳島高等学校が廃止された。
	4月 1日	・学芸学部にて二年制の小学校保育兼修課程を置いた。
	9月 1日	・学芸学部通信教育部が設置された。
1951 (昭和26) 年	3月31日	・包括されていた徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医学専門学校および徳島工業専門学校が廃止された。また徳島大学医学部厚生女学部は、徳島大学医学部附属看護学校と改称された。
	4月 1日	・工学部薬学科が分離独立して薬学部が、また医学部医学科が設置された。
1952 (昭和27) 年	3月22日	・三木康楽賞(第1回)の贈呈式が事務局で実施された。(以後、毎年実施され現在に至る。)
	5月 2日	・附属図書館が設置され、学芸学部分館および工学部分館(薬学部を含む。)を併せ常三島分館が設けられ、医学部図書分館は、蔵本分館と改称された。
	10月21日	・中田篤郎が病気のため学長を辞職し、医学部長兼徳島医科大学学長高森時雄が学長事務取扱を命ぜられた。
1953 (昭和28) 年	4月 1日	・医学部長兼徳島医科大学学長高森時雄の学長事務取扱は免ぜられ、東京大学名誉教授児玉桂三が学長に任命された。
	7月28日	・薬学部の校舎の一部が徳島市庄町1丁目に完成し、生薬学、生物薬品化学および薬剤学の3講座が南常三島町の校舎から移転して授業を開始した。
1954 (昭和29) 年	2月 1日	・徳島大学評議会を設置した。(従来の評議会を廃止)
	4月 1日	・徳島大学工業短期大学部が併設された。
1955 (昭和30) 年	1月	・徳島大学の歌とバッチが選定された。
	4月 1日	・医学部医学進学課程が設置された。
	4月16日	・大学院が設置され、大学院に医学研究科が設置された。
	7月 1日	・医学部の講座数は、基礎11講座、臨床12講座の23講座と定められた。
	8月 3日	・医学研究科に置かれる専攻の名称および課程が定められた。
1956 (昭和31) 年	4月 1日	・工学専攻科が設置された。
		・児玉桂三が学長に再任された。
1957昭和32() 年	3月31日	・学芸学部二年制小学校教員養成課程が廃止された。
	4月 1日	・医学部の講座数は24講座と定められた。
		・薬学専攻科が設置された。
		・医学部附属助産婦学校が設置された。
		・学芸学部二年制中学校教員養成課程が家政科課程の1科となった。
	6月20日	・アイソトープ研究室が開設された。
1959 (昭和34) 年	3月31日	・学芸学部通信教育部が廃止された。
		・学芸学部二年制中学校教員養成課程(家政科課程)が廃止された。
	4月 1日	・児玉桂三が学長に再任された。
1960(昭和35) 年	3月31日	・包括された徳島医科大学が廃止された。
	4月 1日	・医学部附属診療エックス線技師学校が設置された。
	6月11日	・徳島大学創立10周年記念式並びに学生会館開館式が挙行了た。
1961 (昭和36) 年	4月 1日	・医学部附属酵素研究施設が設置され、酵素化学部門が置かれた。
		・工学部に精密機械工学科が増設された。
1962 (昭和37) 年	4月 1日	・医学部附属病院に中央臨床検査部および中央手術部が設置された。
		・児玉桂三が学長に再任された。
		・薬学部に製薬化学科が増設された。
		・医学部附属酵素研究施設に酵素生理部門が増設され、2部門となった。

1963 (昭和38) 年	3月31日	・学芸学部二年制小学校保育兼修課程が廃止された。
	4月 1日	・学芸学部にて2課程54学科目、医学部に1学科25講座、薬学部に2学科9学科目、工学部に5学科22学科目、共通学科目2を置くこと定められた。
		・医学部附属病院に皮膚泌尿器科から分離して泌尿器科が増設された。
		・医学部附属衛生検査技師学校が設置された。
1964 (昭和39) 年	3月31日	・工学専攻科が廃止された。
	4月 1日	・大学院に工学研究科(二年課程、土木工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻、電気工学専攻の4専攻課程)が設置された。
		・医学部に栄養学科が設置された。
		・工学部の24学科目が講座に改められるとともに、精密機械工学科に1講座、電気工学科に1講座が増設された。
		・教養部(学内措置)が設置され、医学部医学進学課程は同部に包括された。
1965 (昭和40) 年	3月31日	・薬学専攻科が廃止された。

1.3 発展・充実期

1965(昭和40)年～
1992(平成4)年



1965 (昭和40) 年	4月 1日	・薬学部教授伊東半次郎が学長事務取扱に兼ねて命じられた。
		・教養部が設置された。
		・工学部に化学工学科、医学部栄養学科に3講座(栄養化学、栄養生理学、食品学)が増設され、薬学部の学科目が講座に改められるとともに、製薬化学科に1講座(微生物薬品製造学)が増設された。
		・大学院に薬学研究科(二年課程、薬学専攻)が設置された。
		・大学院工学研究科に1専攻課程(精密機械工学専攻)が増設された。
		・学芸専攻科が設置された。
		・医学部附属病院に歯科が設置された。
		・医学部附属酵素研究施設に酵素病理部門が増設され、3部門となった。
		・薬学部に薬用植物園を開園した。
	6月 1日	・長谷川万吉が学長に任命された。
	9月25日	・大塚講堂の落成式が挙行了た。
1966 (昭和41) 年	4月 1日	・学芸学部は教育学部と改称された。
		・教育学部附属養護学校が設置された。
		・大学院薬学研究科に1専攻課程(製薬化学専攻)が増設された。
		・教育学部に養護学校教員養成課程および幼稚園教員養成課程が増設され、5学科目、医学部医学科に1講座(寄生虫学)、栄養学科に2講座(特殊栄養学、栄養衛生学)、薬学部製薬化学科に1講座(生化学)、工学部化学工学科に1講座(単位操作工学)が増設された。
		・医学部附属海洋生物実験所が設置された。
		・医学部附属病院に中央材料部が設置された。
	5月 6日	・電子計算機センターが開設された。
1967 (昭和42) 年	1月20日	・総合運動場が開場した。
	2月 1日	・医学部附属助産婦学校の位置が、新蔵町2丁目6番地から蔵本町2丁目50番地に移転した。

	4月 1日	・教育学部に特別教科(看護)教員養成課程、工学部に電子工学科、医学部栄養学科に2講座(病態栄養学、実践栄養学)、工学部化学工学科に1講座(化学工業装置材料)が増設された。
	6月 1日	・養護教諭養成所が附置された。 ・医学部医学科に1講座(麻酔学)が増設された。
1968 (昭和43) 年	3月31日	・附属図書館常三島分館が廃止された。
	4月 1日	・教育学部に1学科目、工学部電子工学科に1講座(固体電子工学)が増設された。 ・栄養学専攻科が設置された。
1969 (昭和44) 年	3月31日	・栄養学専攻科が廃止された。
	4月 1日	・大学院に栄養学研究科(二年課程、栄養学専攻)が設置された。また、大学院工学研究科に1専攻課程(化学工学専攻)が増設された。 ・工学部に建設工学科が増設された。 ・教育学部に1学科目、工学部電子工学科に1講座(電子回路工学)が増設された。 ・医学部附属病院に麻酔科が増設された。 ・医学部附属診療放射線技師学校(3月31日付けで医学部附属診療エックス線技師学校が廃止)が設 程置された。
	9月26日	・長谷川万吉が病気により学長を辞職し、医学部教授鈴木幸夫が学長事務取扱を命ぜられた。
1970 (昭和45) 年	1月 9日	・医学部教授北村義男が学長に任命された。
	4月 1日	・教育学部に1学科目、薬学部製薬化学科に1講座(薬品製造工学)が増設され、工学部建設工学科に 2講座(土質工学、土木防災学)が置かれ、薬学部製薬化学科の生化学講座は薬学科の講座に振り替 えられた。
1971 (昭和46) 年	4月 1日	・大学院栄養学研究科に博士課程(栄養学専攻)が設置された。また、工学研究科に1専攻課程(電子 工学専攻)が増設された。 ・医学部医学科に1講座(内科学第三)、工学部建設工学科に1講座(土木計画学)が増設された。 ・医学部附属病院に第三内科が増設された。
1972 (昭和47) 年	4月 1日	・医学部附属臨床検査技師学校が設置された。
	5月 1日	・教育学部に1学科目、工学部建設工学科に1講座(土木設計学)、工学部共通講座として1講座(工業 数学第二)が増設され、薬学部製薬化学科の講座中、「有機薬品製造学」は「薬品製造化学」に、 「無機薬品製造学」は「薬品合成化学」に、「微生物薬品製造学」は「微生物薬品学」に改められた。 ・医学部附属病院に理学療法部(旧物療部)が増設された。 ・医学部附属酵素研究施設に酵素制御部門が増設され、4部門となった。
1973 (昭和48) 年	1月10日	・北村義男が学長に再任された。
	3月31日	・医学部附属衛生検査技師学校は廃止された。
	4月 1日	・工学部に情報工学科が増設され、教育学部に1学科目、工学部に共通講座として1講座が増設された。
	4月12日	・医学部附属病院に中央放射線部が増設された。
1974 (昭和49) 年	4月 1日	・教育学部に1学科目、医学部医学科に1講座(脳神経外科学)、工学部情報工学科に2講座(システム工 学、情報応用工学)、教養部に1学科目が増設された。 ・大学院工学研究科に1専攻課程(建設工学専攻)が増設された。
1975 (昭和50) 年	4月 1日	・医学部医学科に2講座(ウイルス学、口腔外科学)、工学部情報工学科に1講座(計画数学)が増設された。 ・保健管理センターが設置された。 ・薬学部附属薬用植物園が設置された。 ・徳島大学養護教諭特別別科が設置された。
	10月 1日	・医学部附属病院に分娩部が増設された。
1976 (昭和51) 年	1月10日	・医学部教授山田憲吾が学長に任命された。
	5月10日	・工学部情報工学科に1講座(情報基礎工学)が増設された。
	10月 1日	・歯学部が設置された。歯学部に歯学科が設置され、2講座が置かれた。
1977 (昭和52) 年	4月 1日	・教育学部に養護教諭養成課程が増設された。 ・大学院工学研究科に1専攻課程(情報工学専攻)が増設された。

	4月18日	・医学部医学科の1講座(口腔外科学)が廃止され、歯学部歯学科に3講座(歯科保存学、歯科補綴学、口 腔外科学)が増設された。
	10月 1日	・医学部附属病院歯科口腔外科に歯学部の保存診療部門、補綴診療部門、矯正診療部門を含め診療を 開始した。
1978 (昭和53) 年	4月 1日	・教育学部に2学科目が、歯学部歯学科に5講座(口腔解剖学第一、口腔生理学、口腔病理学、歯科理工 学、歯科保存学第二)が増設された。
1979 (昭和54) 年	1月10日	・医学部教授岡芳包が学長に任命された。
	3月31日	・養護教諭養成所が廃止された。
	4月 1日	・教育学部に2学科目が、歯学部歯学科に5講座(口腔解剖学第二、口腔細菌学、歯科薬理学、予防歯科 学、歯科補綴学第二)が、工学部機械工学科に1講座(動力工学)が増設された。 ・歯学部附属病院が設置された。 ・歯学部附属病院に7診療科が設置され、医学部附属病院の歯科口腔外科は廃止された。また、診療施設 として総合診療室、予診室、臨床検査室、手術室、材料室、技工室、放射線室を設置した。 ・歯学部附属病院において7診療科の診療を開始した。
1980 (昭和55) 年	4月 1日	・歯学部歯学科に2講座(口腔外科学第二、歯科放射線学)が増設された。 ・歯学部附属病院に2診療科(第二口腔外科、歯科放射線科)が増置された。
1981 (昭和56) 年	4月 1日	・工学部電気工学科に1講座(応用電気工学)が増設された。
1982 (昭和57) 年	1月10日	・工学部教授添田喬が学長に任命された。
	4月 1日	・歯学部歯学科に1講座(小児歯科学)が、工学部精密機械工学科に1講座(精密機械設計学)が増設 された。 ・医学部附属病院に難聴診療部が増設された。 ・歯学部附属病院に1診療科(小児歯科)が増設された。
1983 (昭和58) 年	4月 1日	・大学院に歯学研究科(歯学専攻)が設置された。 ・医学部附属病院に救急部が増設された。
1984 (昭和59) 年	4月11日	・医学部医学科に1講座(臨床検査医学)が増設された。
1985 (昭和60) 年	1月10日	・添田喬が学長に再任された。
	4月 1日	・医学部附属動物実験施設が設置された。 ・工学部電子工学科に1講座(光電子工学)が増設された。 ・医学部附属病院に心臓血管外科が増設された。
1986 (昭和61) 年	4月21日	・教育専攻科が廃止された。
	4月22日	・教育学部を改組して総合科学部が設置された。それに伴ない、教育学部附属小学校、同附属中学校、 同附属養護学校および同附属幼稚園は、鳴門教育大学に移管された。 ・総合科学部に総合科学科が設置された。 ・大学開放実践センターが設置された。
1987 (昭和62) 年	4月 1日	・大学院薬学研究科に、薬学専攻、製薬化学専攻を改組し、博士課程(薬品科学専攻)が設置された。
	5月21日	・薬学部の13講座が薬学科(生理・衛生薬学、薬力学・薬剤学)および製薬化学科(薬品素材学、医薬品化 学)の4大講座に改められた。 ・医学部附属酵素研究施設及び医学部附属海洋生物実験所を廃止して、酵素科学研究センター(酵素化 学、酵素生理学、酵素病理学、酵素制御学、酵素遺伝学および酵素細胞学の6部門)が設置された。
	10月 1日	・徳島大学医療技術短期大学部が併設された。
1988 (昭和63) 年	1月10日	・薬学部教授久保田晴寿が学長に任命された。
	4月 1日	・工学部の9学科を改組し、建設工学科、機械工学科、化学応用工学科、電気電子工学科、知能情報工学 科および生物工学科の6学科が設置された。
	4月 8日	・工学部の44講座が17大講座に改められた。
1990 (平成2) 年	3月31日	・教育学部が廃止された。 ・医学部附属看護学校、同附属診療放射線技師学校、同附属臨床検査技師学校は廃止された。
	6月 8日	・医学部附属病院に輸血部が増設された。

- 1991 (平成3) 年
 - 12月20日 ・長井記念ホールの竣工記念式が挙行された。
 - 1月10日 ・医学部教授武田克之が学長に任命された。
 - 3月31日 ・医学部附属助産婦学校は廃止された。
 - 4月 1日 ・大学院工学研究科に博士課程3専攻(物質工学、生産開発工学、システム工学)が設置された。また、修士課程9専攻を博士前期課程5専攻(建設工学、機械工学、化学応用工学、電気電子工学、知能情報工学)に改組した。
 - 4月12日 ・地域共同研究センターが設置された。
 - ・大学院工学研究科(博士後期課程)に6大講座(物性工学、物質変換工学、生産工学、開発保全工学、情報システム工学、電子機械システム工学)が設置された。
 - ・歯学部附属病院に1診療科(歯科麻酔科)が増設された。
- 1992 (平成4) 年
 - 4月 1日 ・大学院工学研究科博士前期課程に生物工学専攻が増設された。
 - 4月10日 ・薬学部附属薬用植物園を改組して、薬学部附属医薬資源教育研究センター(植物環境資源学分野、海洋環境資源学分野)が設置された。
 - ・医学部附属病院に集中治療部が増設された。
- 1993 (平成5) 年
 - 3月31日 ・教養部が廃止された。

1. 4 整備・拡充期 1993(昭和5)年～ 2003(昭和15)年



- 1993 (平成5) 年
 - 4月 1日
 - ・一般教養に関する教育は、全学共通教育として総合科学部が中心となり、全学部が協力して行うことになった。
 - ・総合科学部総合科学科が人間社会学科、自然システム学科の2学科に改組された。
 - ・総合科学部総合科学科6大学科目が、人間社会学科(言語文化、人間社会文化、経済社会システム、行動科学)および自然システム学科(数理科学、物質科学、生命科学)の7大学科目に改められた。
 - ・薬学部附属医薬資源教育研究センターに環境生物工学分野が増設された。
 - 10月 1日
 - ・工学部に光応用工学科1大講座(光機能材料)が設置され、建設工学科に1大講座(社会システム工学)、機械工学科に1大講座(生産システム)、電気電子工学科に1大講座(知能電子回路)がそれぞれ増設された。
 - ・併設工業短期大学の廃止決定に伴い、工学部建設工学科、機械工学科、化学応用工学科、電気電子工学科、知能情報工学科、生物工学科に夜間主コースが設けられた。
- 1994 (平成6) 年
 - 1月10日 ・武田克之が学長に再任された。
 - 4月 1日 ・大学院に人間・自然環境研究科(修士課程、人間環境専攻、自然環境専攻)が設置された。
 - 6月24日
 - ・総合科学部の7大学科目は7大講座に改められた。
 - ・総合情報処理センターが設置された。
- 1995 (平成7) 年
 - 4月 1日
 - ・工学部光応用工学科に1大講座(光情報システム)が増設された。
 - ・医学部附属病院に形成外科が増設された。
 - 4月20日 ・国際交流会館が竣工した。(徳島県板野郡北島町高房)
- 1996 (平成8) 年
 - 3月31日 ・併設工業短期大学部が廃止された。
 - 5月11日 ・大学院薬学研究科に医療薬学専攻(博士課程・独立専攻)が設置された。
 - 7月19日 ・サテライトベンチャー・ビジネス・ラボラトリーが設置された。

- 1997(平成9) 年
 - 1月10日 ・名誉教授齋藤史郎が学長に任命された。
 - 3月31日 ・酵素科学研究センターが廃止された。
 - 4月 1日
 - ・分子酵素学研究センターが設置された。(10年間の時限施設)
 - ・大学院工学研究科にエコシステム工学専攻(博士課程・独立専攻)が設置された。
 - ・歯学部附属病院に特殊歯科総合治療部が設置された。
 - 10月 1日 ・スペース・コラボレーション・システムの運用を開始した。
- 1998 (平成10) 年
 - 4月 1日 ・大学院工学研究科に光応用工学専攻(博士前期課程)が設置された。
 - 4月 9日 ・ゲノム機能研究センターが設置された。
- 1999 (平成11) 年
 - 4月 1日
 - ・医学部附属病院に周産母子センターが設置された。
 - ・共通教育センター(学内措置)が設置された。
 - 11月 2日 ・徳島大学創立50周年記念式典が挙行された。
- 2000 (平成12) 年
 - 1月10日 ・齋藤史郎が学長に再任された。
 - 4月 1日
 - ・大学院工学研究科博士後期課程の3専攻を4専攻(物質材料工学専攻、マクロ制御工学専攻、機能システム工学専攻、情報システム工学専攻)に改組した。
- 2001 (平成13) 年
 - 10月 1日
 - ・医学部保健学科8講座(基礎看護学、成人・高齢者看護学、母性・小児看護学、地域・精神看護学、医用放射線科学、診療放射線技術学、機能系検査学、形態系検査学)が設置された。
- 2002 (平成14) 年
 - 4月 1日
 - ・医学部医学科の31講座が9大講座(発生発達医学、病態予防医学、社会環境医学、情報統合医学、病態情報医学、感覚情報医学、器官病態修復医学、生体防御腫瘍医学、感覚運動系病態医学)に改組された。
 - ・大学院医学研究科の5専攻が医学専攻(博士課程)に改組された。
 - ・大学院医学研究科にプロテオミクス医科学専攻(博士課程)が設置された。
 - ・歯学部歯学科に1講座(歯学麻酔学)が増設された。
- 2003 (平成15) 年
 - 1月10日 ・名誉教授青野敏博が学長に任命された。
 - 4月 1日
 - ・医学研究科に修士課程が設置された。
 - ・大学院人間・自然環境研究科に臨床心理学専攻修士課程が設置された。
 - 6月 1日 ・教育実践推進機構が設置された。
 - 8月 1日 ・知的財産本部が設置された。
 - 10月 1日 ・医学部附属病院と歯学部附属病院を統合し、医学部・歯学部附属病院(徳島大学病院)を創設した。
 - 11月25日 ・社会連携推進機構が設置された。

